

川嶋章司記念スカラーシップ基金 2026年度奨学助成金

標記財団からの推薦依頼に基づき、以下のとおり、募集します。応募に際しては必ず、募集要項等で詳細を確認してください。

応募資格	(1) 財団が提示する応募資格を全て満たすこと。 対象(抜粋)：人文・社会・自然諸科学を専攻している者 学部生：2026年4月に学部3.4年次に在籍する者(見込み) 大学院生：2026年4月に修士課程または博士課程に在籍する者(見込み) (2) 在留資格が「留学」であること（あるいは「留学」へ変更申請中であること）。 (3) 応募当該年度において休学、原級、在籍原級、留籍をしていないこと。また、応募する奨学金の受給年度において休学、原級、在籍原級、留籍の見込みがないこと。秋学期に募集するもので、秋学期に復学した者は応募可。また休学による原級は認めることがあるので、事前に事務室に確認すること。 (4) 応募当該年度に懲戒処分を受けていないこと。また、応募時点で懲戒処分期間中ではないこと。 (5) 直近のGPAが、学部生で2.7以上、大学院生で3.5以上（会計専門職研究科学生のみ2.5以上）であること。ただし新入生でGPAが算出できない場合、GPAの要件はありません。
推薦者数	1名
学内締切 (厳守)	2025年12月8日（月） 17：00 事務室への提出（郵送不可）を上記期限までに行ってください。 ※財団の「募集要項」に記載された応募締切日ではなく、上記の学内締切を厳守してください。
提出書類	募集要項の＜7.応募方法＞に記載された応募書類のうち、以下の8点を提出先に提出してください。 以下の番号は募集要項に対応しています。 財団所定の申請用紙 ○ 申請書 ※「事務局連絡窓口」の欄は空白で問題ありません。 ○ 推薦書 ※ご自身で指導教員の先生に手書きでの作成を依頼し、署名・押印をもらってください。 ○ 履歴書 ○ 身上書 (4)以外の書式は全て所定様式があります。 指定様式を片面で印刷し、手書きで記入してください。 (4) 在留カードの写し ※裏面に記載事項がなくても、表と裏の両面のコピーを提出してください。 (5) (別紙1) (1)留学の目的と活動状況 (6) (別紙2) (2)現在の研究・勉学のテーマ(発表論文等の資料添付可) (7) (別紙3) (3)将来の進路(卒業後の進路と留学の関係等について) 【学内選考の結果、財団への推薦が決定した場合に提出する書類】 (1)：在学証明書 (2)：成績証明書 2026年4月に修士課程2年生の場合は学部の成績証明書が必要です。 (3)：健康診断書(証明書) 4月の学内健康診断を受診している場合、大学で発行可能です。 提出期日などは、学内選考通過者に案内しますので、速やかに提出できるように準備してください。
提出先	国際教育事務室(駿河台/和泉/生田)または 中野教育研究支援事務室
注意事項	(1) 応募に際しては必ず、財団の「募集・推薦要項」で詳細を確認してください。 (2) 学内での応募についてはこの学内募集要項の指示にしたがってください。 (3) 志願者本人以外が、代理で応募書類を提出することは認めません。 (4) 一度提出された書類は返却しません。 (5) 修正液や二重線による修正は一切行わないでください。 (6) 不明な点がある場合には、国際教育事務室（isupport@meiji.ac.jp）へ問い合わせることとし、直接、当該財団に問い合わせないでください。 (7) 学内応募については、他の奨学金との併願を認めますが、同一の学生を併給が認められない複数の奨学金には推薦しません。
個人情報の 取り扱いについて	明治大学は、「学校法人明治大学個人情報保護方針」ならびに本学「個人情報の保護に関する規程」に基づき、日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、その他の学外奨学金の申請者及び保護者等関係者の個人情報（学籍異動・成績情報を含む）を奨学金業務を適切に遂行する目的以外には使用しません。また、個人情報提供先については、法令に遵守した形で行い、これらの目的以外に個人情報を利用しないことを約束します。
お問い合わせ	〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学 国際教育事務室 財団奨学金担当（03-3296-4488） isupport@meiji.ac.jp

公益信託川嶋章司記念スカラーシップ基金 2026 年度奨学助成金募集要項

当基金は、人類社会の発展と調和を目指す人文・社会・自然諸科学の分野で勉学と研究に励む外国人留学生に対して奨学金の支給を行い、国際間の相互理解と交流の促進を目的として、設立されたものである。

2026 年度助成事業として、以下要領により助成希望者を募集する。

1. 対象者（応募資格）

- (1) 我が国の大学および大学院の正規課程に在籍する外国からの留学生で、特に学業人物ともに優れ、かつ留学生生活が続けていくために経済的な援助を必要とする者。
専攻分野は、人文・社会・自然諸科学とする。
* 学部学生：2026 年 4 月に学部 3、4 年次に在籍する者（見込み）
* 大学院生：2026 年 4 月に修士課程または博士課程に在籍する者（見込み）
- (2) 他の奨学金との併給者は、その月額が 5 万円以下の者。
- (3) 前年度（2025 年度）当基金新規採用の奨学生の内、2026 年度も継続して奨学助成金の受給を希望する者。

2. 奨学助成金額および支給時期

- (1) 1 人あたりの奨学助成金は、年額 144 万円（月額 12 万円）とする。
- (2) 原則として、4 月および 10 月（年 2 回）の各月に、年間奨学助成金の 1/2 を支給する。

3. 支給期間

原則 2 年 [2026 年 4 月～2028 年 3 月までの就学期間を対象とする]

但し、2 年目継続希望者は、次年度申請時に再度奨学金申請書等所定の書類を提出していただき継続の審査が必要です。

4. 採用人数

9 名程度（新規採用）

5. 申込期限

2025 年 12 月 19 日（金）必着

6. 申込方法

各大学等内で学内選考のうえ、1 名（継続者を除く）を選定し、大学等事務局を通じて当基金に提出する。

【裏面へ続く】

7. 応募方法

当基金奨学助成金の受給希望者は、当基金所定の申請用紙（申請書・履歴書・身上書・推薦書）に以下の書類を添え、在籍大学等の事務局に提出する。

- (1) 在学証明書
- (2) 成績証明書（現課程のものが入手できない場合は前課程のもので可。
2026 年 4 月に修士課程 2 年次に在籍する者（見込み）は学部の成績証明書もあわせて提出すること）
- (3) 健康診断書（証明書）
- (4) 外国人登録証明書（写）または在留カード（写）＊裏面も必要
- (5) （別紙 1）（1）留学の目的と活動状況
- (6) （別紙 2）（2）現在の研究・勉学のテーマ（発表論文等資料の添付可）
- (7) （別紙 3）（3）将来の進路（卒業後の進路と留学の関係等について）

＊継続申請の方は、申請用紙（申請書・履歴書・身上書・推薦書）に上記（2）（3）（6）（7）の書類および準備段階の論文概要等、学業・研究活動の状況がわかる資料を添付してください。

＊ご提出いただいた申請書および添付した資料は、当基金奨学生の選考のために運営委員会で用いられます。なお、ご提出いただいた応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

8. 奨学金助成者の決定および結果通知

- (1) 当基金運営委員会が審査選考を行い、奨学金助成者を決定する。
- (2) 可否については、原則として 3 月末までに当基金受託者から大学を通じて通知する。

9. その他

奨学金助成者に決定した奨学生は、奨学助成金贈呈式に出席していただきます。

10. 申請書類の送付先およびお問い合わせ先

<受託者>

〒164-0001 東京都中野区中野 3-36-16
三菱ＵＦＪ信託銀行リテール受託業務部
公益信託課 担当 斉藤
TEL 050-3689-2500 FAX 03-5328-0586
メールアドレス masaki_saito@tr.mufg.jp
（件名には基金名を必ずご記入ください）

以上

申請書類記入上の注意

全般的事項について

- (1) 原則として日本語（楷書）で手書きにて記入すること。
- (2) アルファベット使用の場合は活字体で記入すること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 該当する欄はすべて記入すること。
- (5) 記入は万年筆またはボールペン（原則黒）で書くこと。

「奨学金申請書」について

- (1) 大学名称欄は、大学名を記入し、学部の場合は学部名、学科名を記入する。
大学院の場合は該当する課程名を○で囲む。
申請時現在と、2026年4月の在籍大学・学年を記入する。
博士課程で前期・後期がある場合は記入する。入学年月・卒業予定年月も記入すること。
- (2) 「留学目的と活動状況」「現在の研究・勉学のテーマ」「将来の進路」は、添付の別紙に記入する。継続申請者は「現在の研究・勉学のテーマ」「将来の進路」を提出する。

「履歴書」について

- (1) 学歴については卒業した学校名を記入すること。（複数の場合はすべて記入）
- (2) 大学院については、自分の属する課程を○印で囲むこと。
- (3) 職歴については本国および日本における職歴を記入すること。

「身上書」について

- (1) 家族姓名欄には、父母の他、配偶者、子供、兄弟姉妹について記入すること。
- (2) 職業・勤務先欄は、具体的に記入する。できれば役職等も記入すること。
- (3) 父母死亡の場合は、「死亡」と記入し、生前の職業・勤務先を記入すること。
在学中のものは学校名を記入すること。
- (4) 授業料以外の収入欄各欄は、平均月額にて記載すること。

「推薦書」について

- (1) 推薦者は原則指導教員。
- (2) 専攻・研究テーマは内容を明記すること。
- (3) 推薦文を別紙とする場合には、別紙にも「日付」「役職」「氏名（サイン）」「押印」をして提出すること。

その他

- (1) 博士課程で成績証明が発行されない場合には、その旨を送付状・推薦書等に明記すること。
- (2) 申請書記載住所と在留カード記載住所の一致を確認すること。

以上